

間引き…込み合っているところから少しずつ間引きして、最終的には、その作物の大きさに合った株間にする。にんじん、だいこん、ごぼうなど、根菜類は地中にまっすぐ根を伸ばしているので根ごと引き抜く。間引きしながら、小さな雑草は抜き、大きな雑草は刈っていく。

間引いたにんじんの葉は
サラダなどにして食べると
美味しいですよ！



①発芽して20日～30日ぐらい経ち、本葉が4～5枚出てきたら、葉の混みあっているところを抜いて“間引き”をする。間引きしながら雑草なども抜いておく。間引きが遅くなるとにんじんの成長も遅くなるので、週一ぐらいのペースで小まめに間引いていく。



②まわりに補いをして、にんじん葉の上にかかったものを草などでやさしく払い落とす。